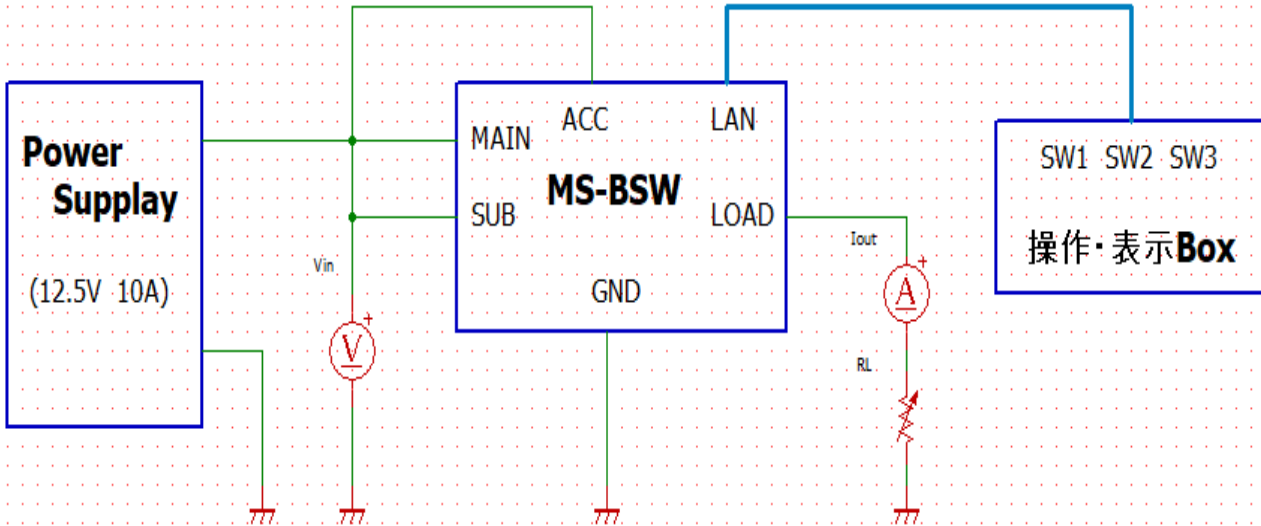


## MAIN SUB Battery Switch

### MS-BSW 較正回路



#### 1 較正方法

- ① 上図の様にMAIN/SUB/ACC端子を電源に接続し、電圧計を付ける。  
負荷RLは1.25Ω(10A)と12.5Ω(1A)を出力端子Loadに接続し、電流計を付ける。
- ② SW2/SW3を両押しして、電源をONする。  
"コウセイ カイシ"と表示される。
- ③ キーを離すと "テンアツREF" "12500 mV"と表示される。
- ④ SW2/3で参照電圧(Reference)をVin電圧に合わせる。
- ⑤ SW1を長押しすると、ブザーが鳴りDACがスキャンする。  
SW1を短押しするとブザーは鳴らず次の較正へ移る。(この較正はスキップし変更されない。)
- ⑥ 次の"テンリユREF" "1000 mA"と表示される。  
電流の2点較正の小さい電流値です。
- ⑦ 負荷抵抗RLを変化させて電流が1A付近にする。
- ⑧ SW2/3で参照電流(Reference)をIout電流に合わせる。
- ⑨ SW1を単押しすると、次の2点較正の大きい電流値に移る。
- ⑩ 次の"テンリユREF" "8000 mA"と表示される。
- ⑪ 負荷抵抗RLを変化させて電流が8A付近にする。
- ⑫ SW2/3で参照電流(Reference)をIout電流に合わせる。
- ⑬ SW1を長押しすると、ブザーが鳴り較正値が保存される。

#### 2 動作条件設定

- ① 従来と同じ
 

S ALARM	サブバッテリーの減電圧アラーム(間欠)がなる電圧
S STOP V	サブバッテリーからのLOAD供給を停止する電圧
M ON V	メインバッテリーが電圧がこのオン電圧より3秒間高くなるとメインから供給される。
M OFF V	メインバッテリーが電圧がこのオン電圧より低くなると瞬時にサブに切り替わる。

## 説明

### 3 動作・操作と表示

- ① 操作/表示Boxの接続は較正・設定の場合には必須ですが、実行時は必ずしもなくても動作します。
- ② Boxを接続して起動した場合のLCD表示は一行目の最初の4桁が負荷電流、その後の4桁がサブバッテリーの電圧がヘキサ表示されます。  
二行目の最初の二桁がMODF1(変数参照)、スペース、次の二桁がコンパレータ出力が1=High/0=Low、スペース、次の二桁がDAC値です。  
この表示はサブバッテリーONの場合のみです。
- ③ サブバッテリーのOn/Offの切り替えはSW1の長押しでスクロールします。Onの場合Boxのバックライトが点灯します。この切り替えはサブ/メインモード時どちらでも有効です。
- ④ サブバッテリーOnでLoad端子に出力しているとき、サブ電圧が”S ALAM”電圧より下がると間欠ブザーが鳴ります。更に下がると”S STOP V”以下になるとLoad端子は遮断され、サブバッテリーOnはOffに変わります。
- ⑤ ケーブル抵抗の設定でサブバッテリーの内部抵抗と接続ケーブル抵抗の電圧降下を補正することができます。ケーブル抵抗と出力電流の積分だけ”S ALARM”と”S STOP V”の電圧が下げて判定します。
- ⑦ ACC電圧が”M ON V”以上で約3秒間持続するとMainモードになります。メインバッテリーからLoadに出力されます。
- ⑧ メインモードでACC電圧が一瞬でも”M OFF V”より下がるとサブモードに切り替わります。
- ⑨ サブモードに成ったときサブバッテリーOffの場合は約4秒後にLoad出力は遮断されます。しかし、この4秒間の間に”M OFF V”より高い電圧が3秒継続すると再びメインモードがOnに成ります。

### 注意

LANコネクタを外し再び接続する又はPIIC 9Pinをグランドに落とすとLCD表示は停止する。  
しかし、SW1とバックライトは有効です。LCDBoxを外した使い方に成ります。